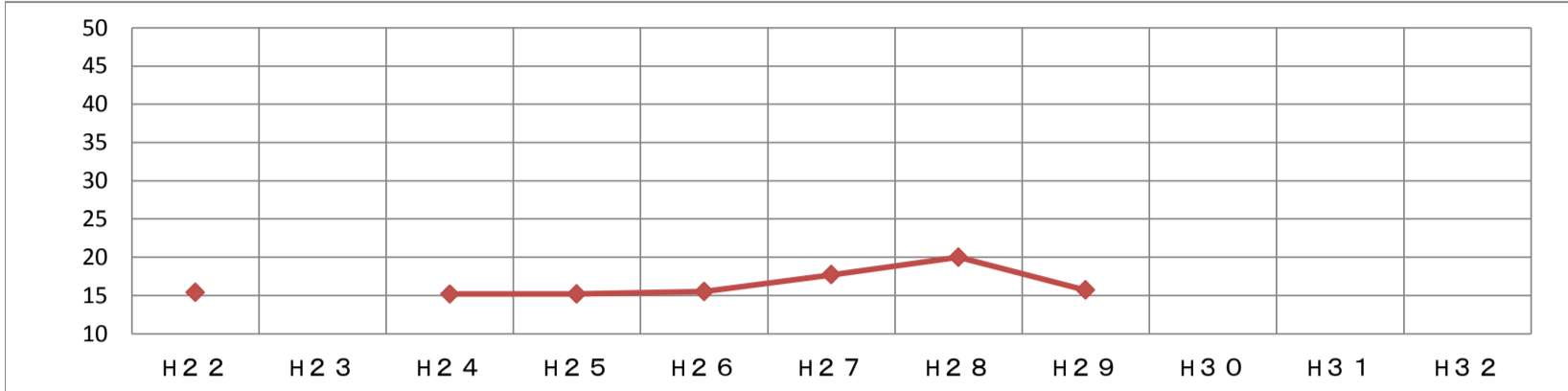


指標の進捗状況

1 住民やNPOなどによる地域活動に積極的に参加していると回答した県民の割合

※平成23年度に関しては実績値なし

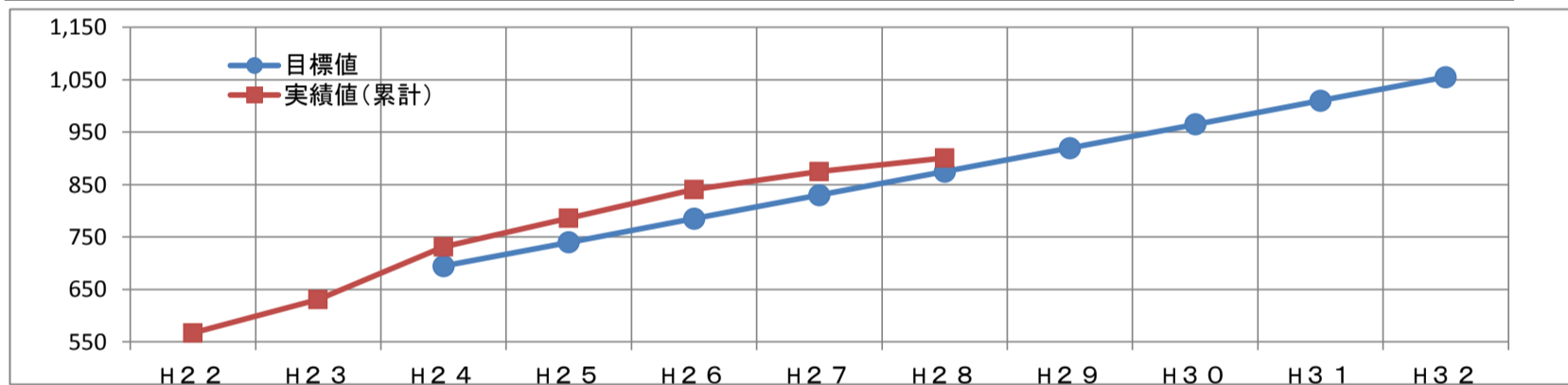
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
実績値	15.4	-	15.2	15.2	15.5	17.7	20	15.7			



・県政世論調査より、「あなたは住民やNPOなどによる地域活動に積極的に参加していますか。」という質問に対し「はい」4.4%で31人、『どちらかといえば「はい」』が11.3%で80人、合計111人で全体の15.7%であり、増加傾向にあったがH29は減少となった。

2 NPO法人認証件数

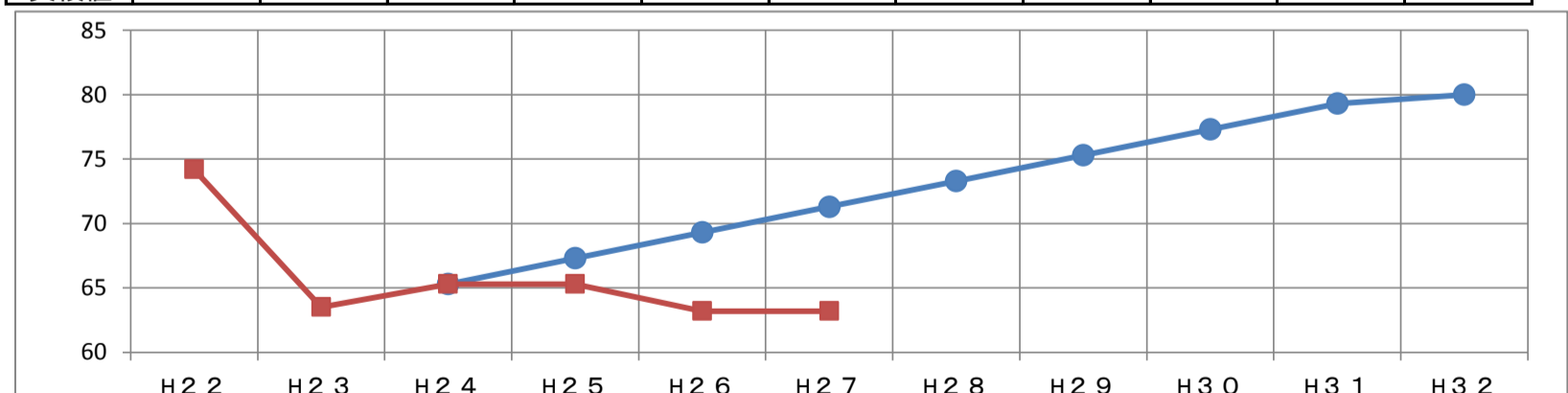
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値			695	740	785	830	875	920	965	1,010	1,055
実績値(累計)	567	631	731	786	841	875	901				



震災以降、認証件数は大幅に増加していたが、25年度と26年度ともに55件の増加、27年度は34件の増加、28年度は26件の増加と震災以前のほぼ水準に戻っていることから、今後も同水準で推移するものと思われる。

3 インターンシップ実施校の割合(県立高等学校全日制・定時制課程)

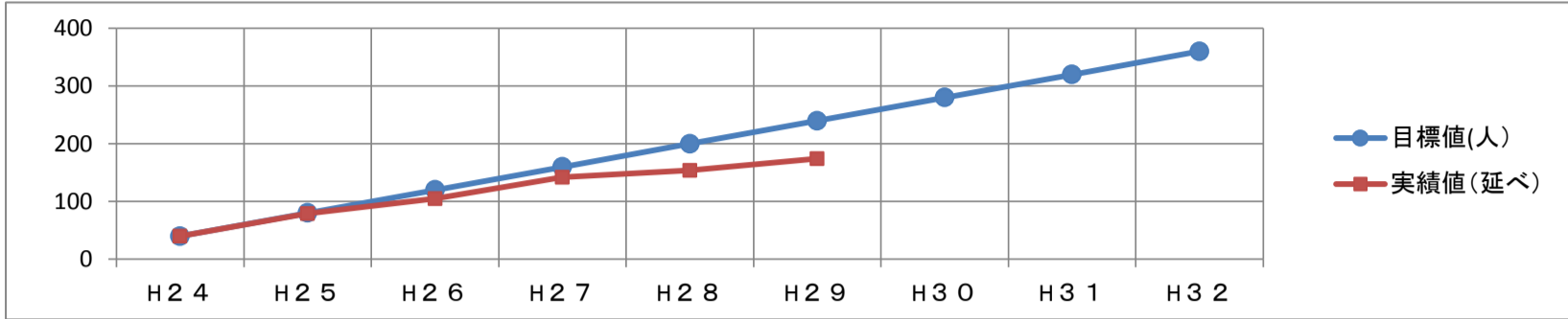
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値			65.3	67.3	69.3	71.3	73.3	75.3	77.3	79.3	80.0
実績値	74.2	63.5	65.3	65.3	63.2	63.2					



・インターンシップ実施校の割合については、文部科学省国立教育政策研究所より発表される「職場体験・インターンシップ実施状況等」の本県の数値に基づいている。
 ・平成28年度の数値については、集計中のため公表待ち。
 ・インターンシップの実施が学習意欲の向上につながることから、民間企業における就業体験だけでなく、医療機関における実習体験やアカデミックインターンシップについても積極的に推進しているため、実施率は増加が見込まれる。

4 地域伝統芸能交流会参加児童生徒数

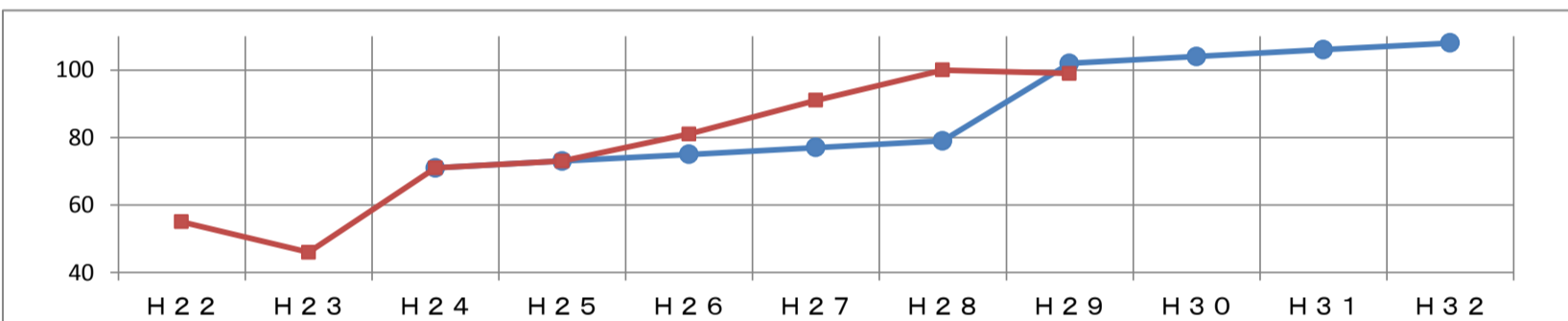
年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値(人)	40	80	120	160	200	240	280	320	360
実績値(延べ)	40	79	105	142	154	174			
実績値	40	39	26	37	12	20			



- ・存続の危機にある民俗芸能の継承のため、小学生に継承する団体はあるが数は少ない。
- ・ふくしまから はじめよう。「地域のたから」民俗芸能伝承事業に参加した児童数である。
- ・避難している市町村では、継承者がバラバラであり、集まることが困難。また、練習場所の確保が難しい。

5 福島県芸術祭参加行事数

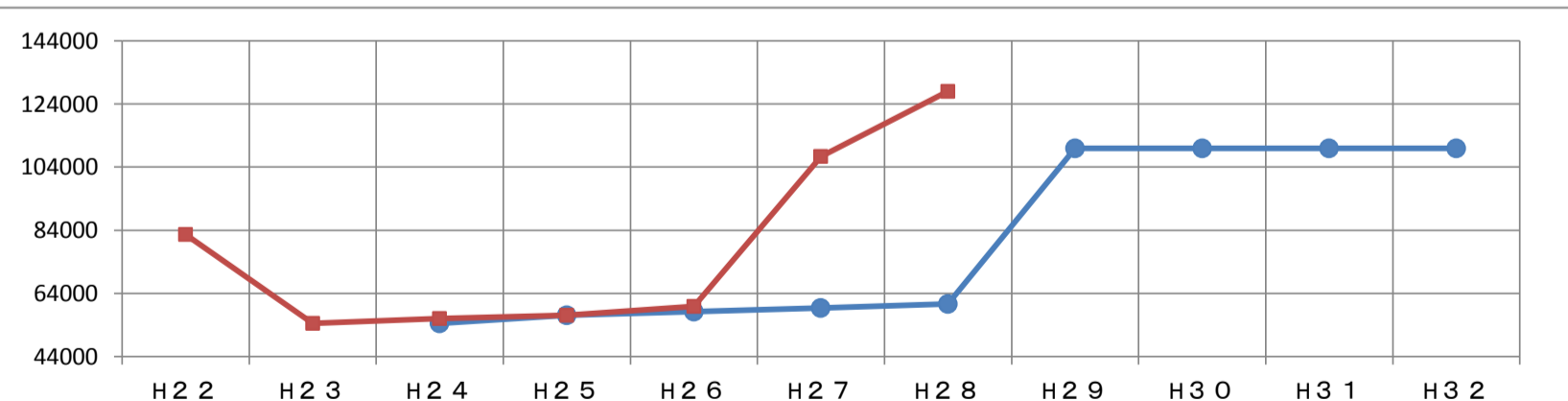
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値			71	73	75	77	79	102	104	106	108
実績値	55	46	71	73	81	91	100	99			



- ・2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、本県芸術・文化の魅力発信の核となる事業であり、毎年参加行事数を増やしていく。
- ・平成28年度福島県文化振興審議会において指標の見直しを行った。87行事→108行事

6 県民カレッジ受講生数

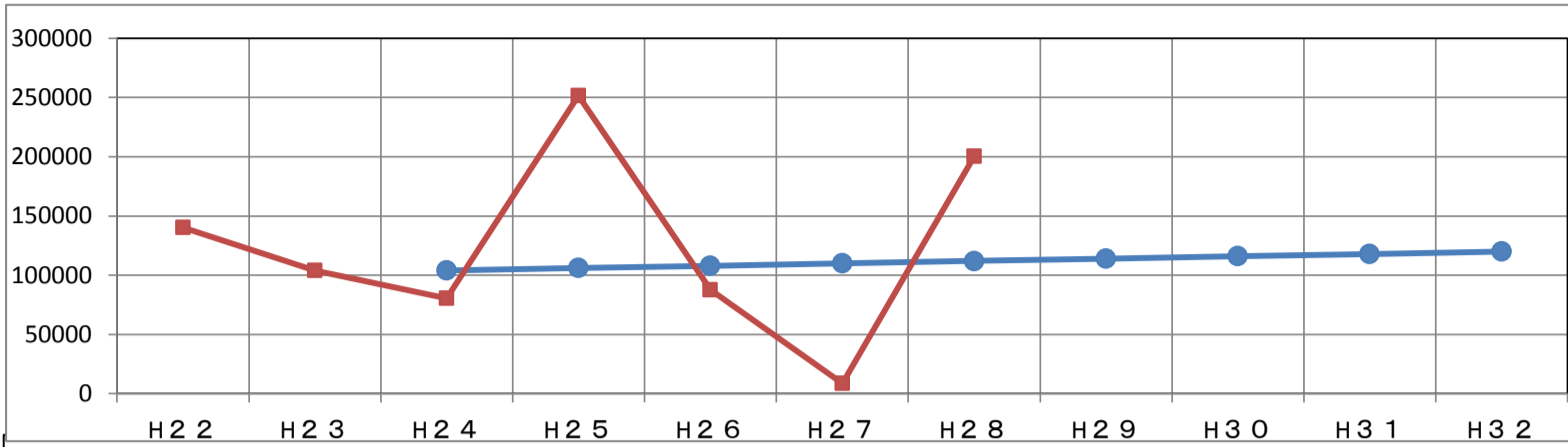
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値			54,532	57,000	58,200	59,400	60,600	110,000	110,000	110,000	110,000
実績値	82,633	54,532	56,063	57,105	59,843	107,380	127,989				



- ・庁内県民カレッジ連携講座受講者数 47,538人
- ・市町村連携講座受講者数 80,451人 合計 127,989人
- ・県主催事業における県民カレッジ連携講座(受講者が一市町村に限らず、誰でも参加できる講座)かどうかを確認し、実際の参加人数を把握した。その結果、大幅に受講者の人数が増加した。
- ・震災後、意図的に生涯学習講座が多く開催された。避難指示が解除された市町村においては、避難先での講座の縮小とともに地元での講座の拡充が予想される。今後、受講者減少にならないよう、生涯学習課として関係機関と連携し、講座の情報提供を行っていかなければならない。

7 県立美術館

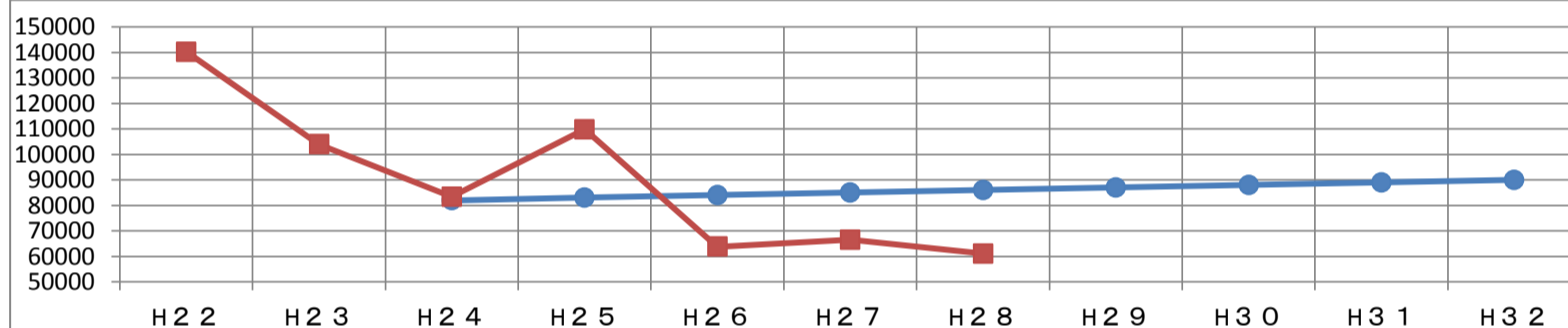
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値			104,000	106,000	108,000	110,000	112,000	114,000	116,000	118,000	120,000
実績値	140,232	103,960	80,631	251,646	87,576	8,727	200,278				



- ・大型企画展「フェルメール展」だけで10万人を超える入館者があったことなどから、平成25年度に次ぐ開館以来2位の入館者数を記録した。
- ・入館者数はその年に開催される企画展によって大きく左右されるため、順調に増加するとは限らないという課題がある。

8 県立博物館

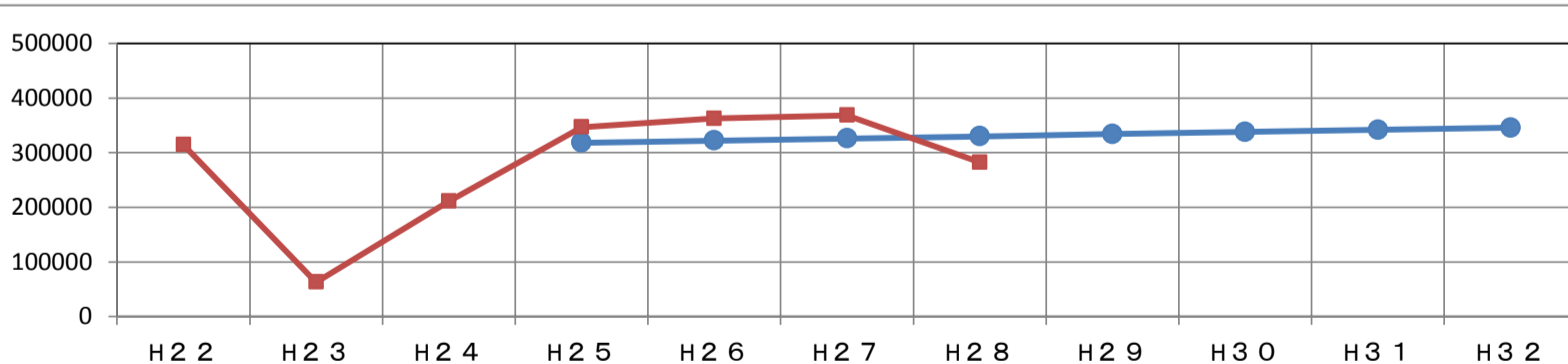
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値			82,000	83,000	84,000	85,000	86,000	87,000	88,000	89,000	90,000
実績値	140,232	103,960	83,401	109,838	63,739	66,509	61,073				



- ・学校団体利用の減少や実行委員会活動や学校への講師派遣等、「入館者数」に計上されない活動の充実等の影響もあり、過去最少を記録した。
- ・入館者数はその年に開催される企画展等によって左右されるため、順調に増加するとは限らないという課題がある。

9 福島県文化センター

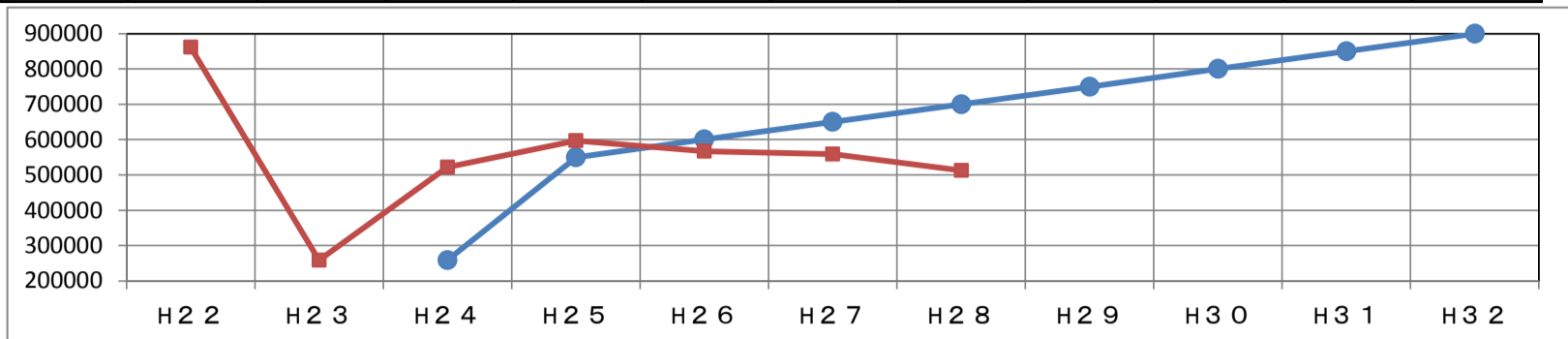
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値				318,300	322,200	326,100	330,000	334,000	337,900	341,800	345,800
実績値	314,413	62,929	211,000	346,873	362,520	368,552	282,611				



年末年始及びメンテナンス日を除き無休としたほか、利用時間についても午前8時30分から午後10時までとし、時間外についても柔軟に対応したことから、年間入場者数は順調に増加していたが、28年度は施設改修による休館で利用者が減少し、目標値を下回った。29年度においても、大規模改修工事による大ホールの休館期間があるため、休館に伴う利用者減は避けられない。

10 アクアマリンふくしま

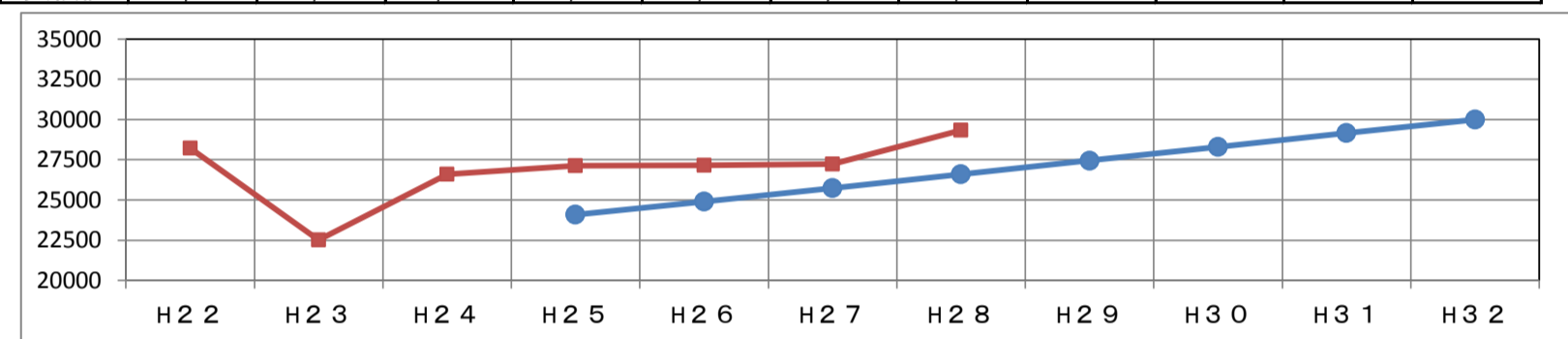
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値			258,244	550,000	600,000	650,000	700,000	750,000	800,000	850,000	900,000
実績値	861,326	258,244	522,269	597,302	567,069	558,630	512,894				



原発事故による風評被害の影響が未だに大きく、平成28年度も前年度同様、入館者数は回復しなかった。
 ・平成29年度にふくしまの海の改修工事を行い、常設展示の充実を図った。
 ・平成30年度に第10回世界水族館会議がアクアマリンふくしまで開催されることから、入館者数の増加を見込める。

11 文化財センター白河館

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標値				24,100	24,900	25,750	26,600	27,450	28,300	29,150	30,000
実績値	28,231	22,528	26,597	27,127	27,166	27,227	29,341				



・東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故により激減した入館者数が、徐々に増加し、対22年度比103.9%となり、22年度を上回るまで回復した。
 ・福島県立博物館等他施設と連携した復興に資する企画展の開催や魅力ある講演会・イベントを企画し、入館者数の増加を目指す。